



しげ のぶ
滋宣の

ほう ちゅう かん

あん ちゅう めい

“忙中閑あり 暗中明あり”

その 17

～ 浮寝鳥 ～

渡り鳥たちが、川に沼に、田んぼなどに目につく季節となりました。

白鳥や鴨、雁などが、水面に浮かんだままで寝入っている姿を見かけると思いますが、鳥たちのこういう習性を「浮寝鳥」と呼びます。

彼らが水上で「浮き寝」をする様子は、のんびりしているようでいて、どこか不安定にも感じます。

だから、昔の人々は、心配ごとを抱えて安らかに眠れない夜の自分自身を「浮寝鳥」にたとえたのでした。

「水のうへに

うきねをしてぞ 思いやる」

(和泉式部)

と歌ったのも、恋ゆえの心配から、まんじりともせずにした夜のことだったのでしょう。

能代市長 齊藤 滋宣



11月19日除雪車出動式で、新しい除雪車に乗ってみました。